

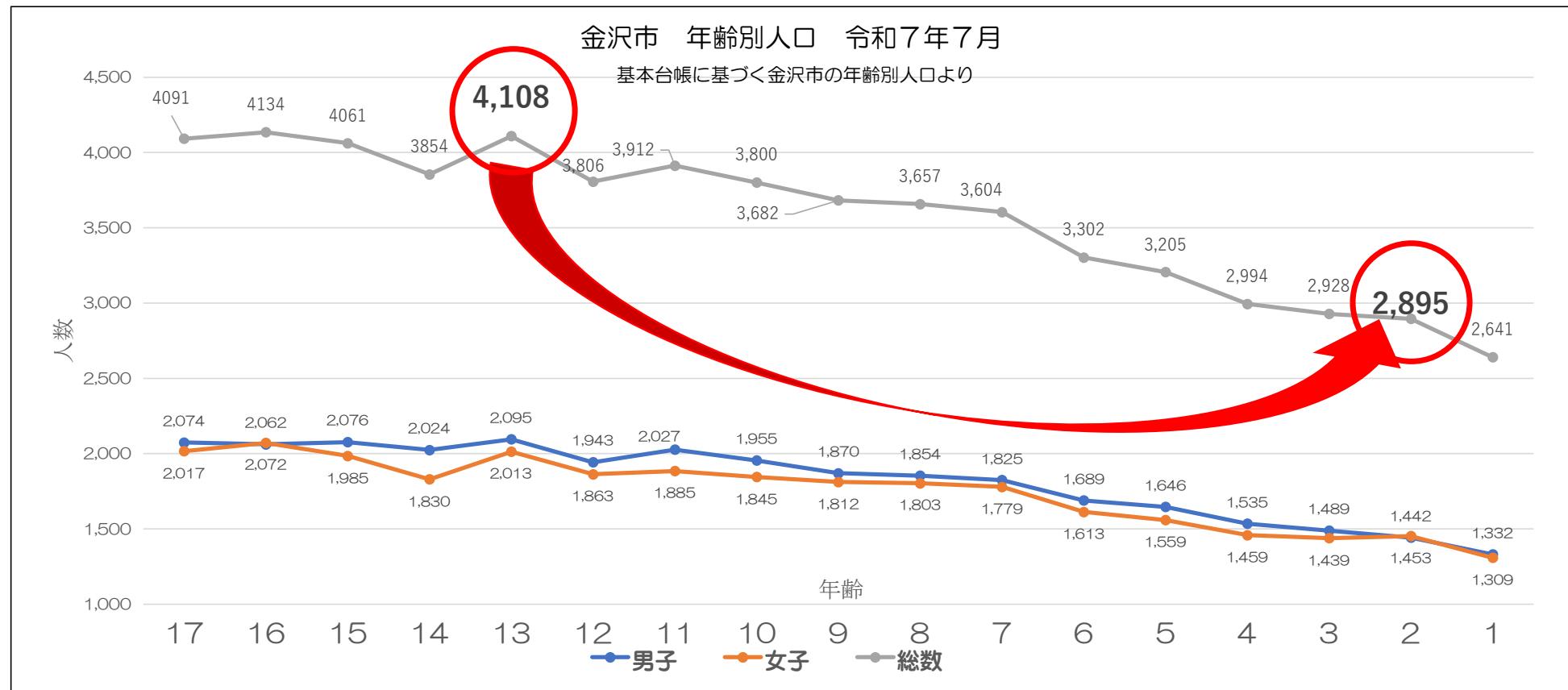
金沢市立中学校の 部活動地域移行(展開)について

令和7年11月現在

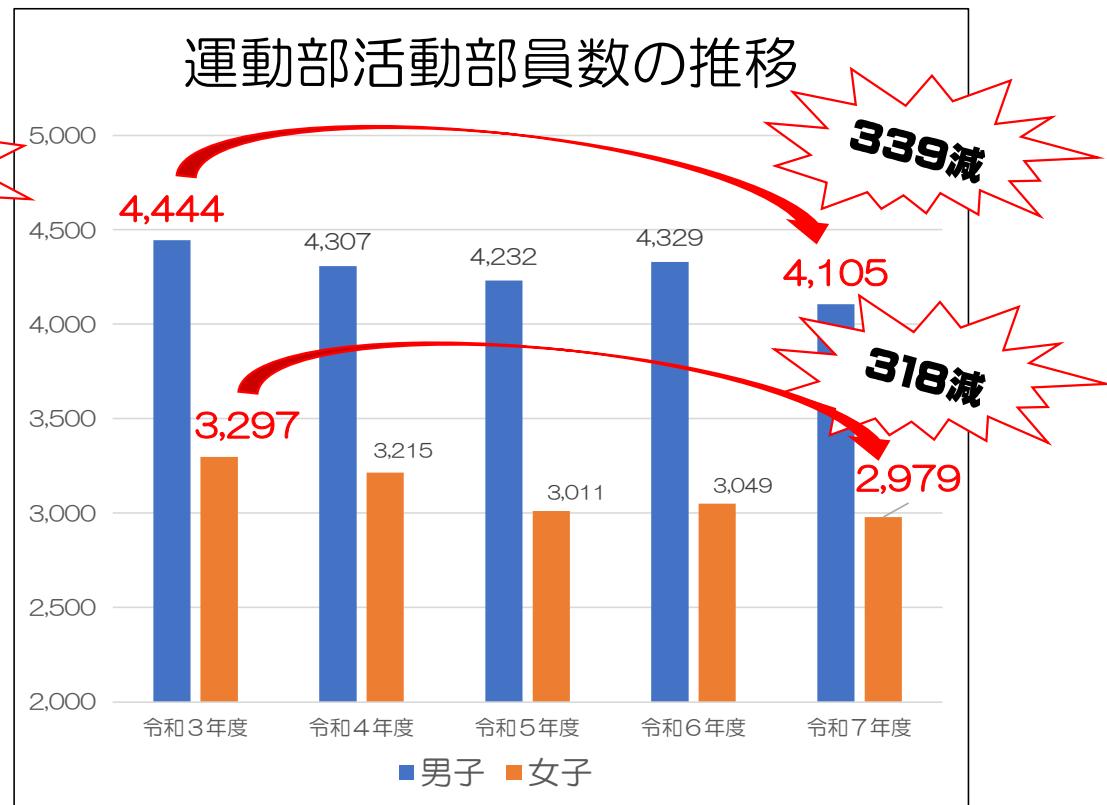
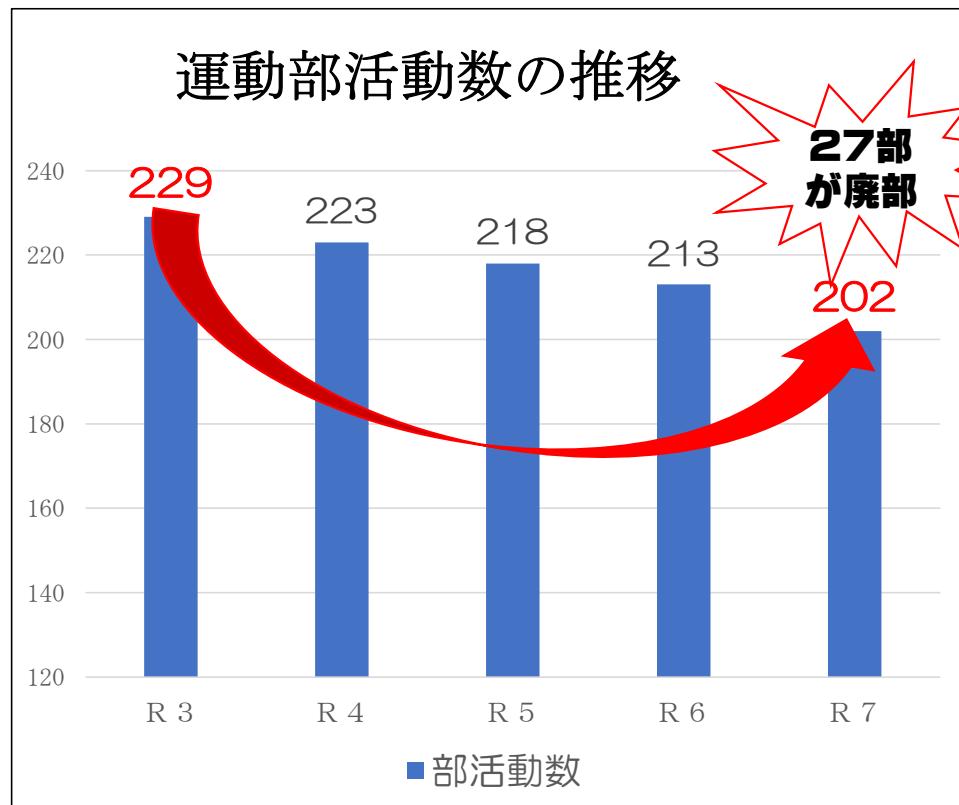
金沢市スポーツ振興課
運動部活動地域移行コーディネーター

1. 部活動の置かれている現状と未来

子どもの数が減少 ~約10年で3割減~



部活動数の減少 と 部員数の減少



少子化による影響とは…

1. 選択肢(機会)の減少

求める部が在籍校にない

やりたい競技にチャレンジできない

2. チームとして試合(練習)が成立しない

多人数が必要な競技(サッカー・野球・ソフトボール)

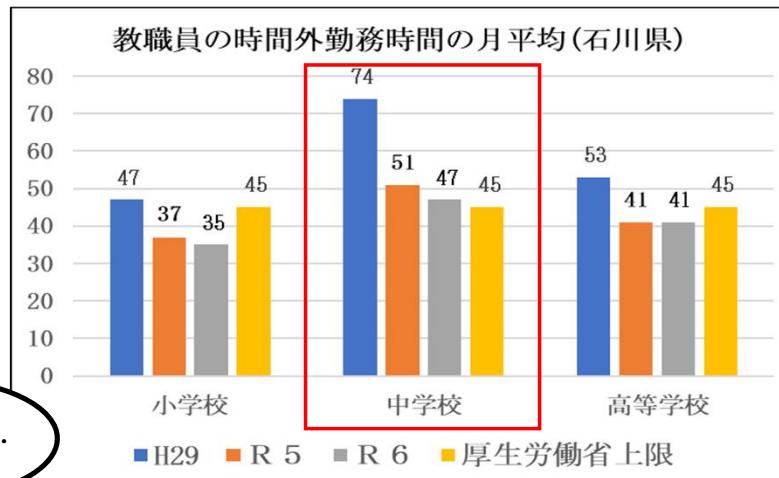
大会参加 現在は合同チームで対応中

練習内容 多人数での練習内容ができない

学校(教員)は、どう考えているのか？

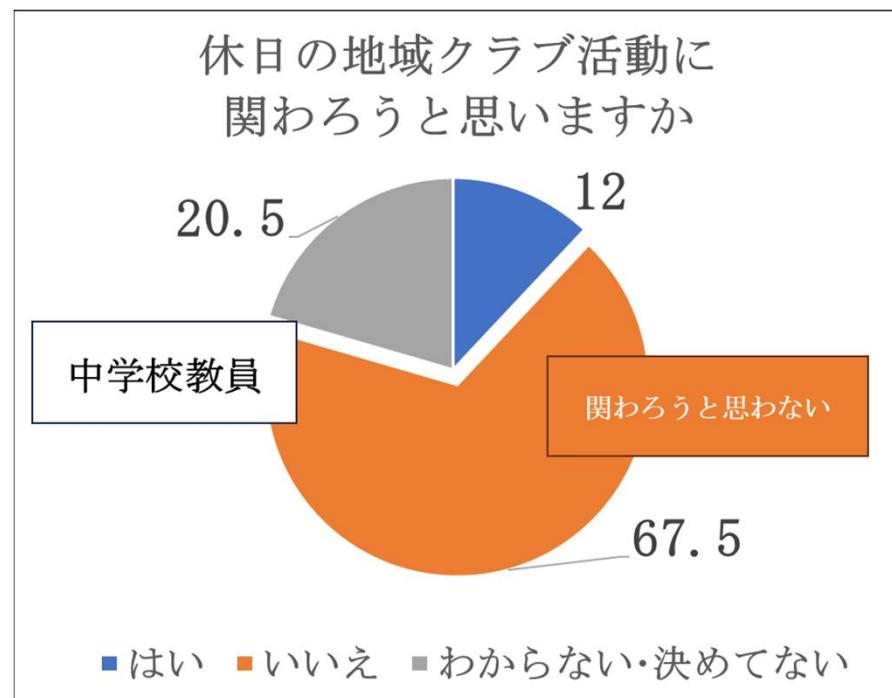
教員の働き方改革

～目標は時間外勤務月45時間へ～



中学校教員月45H以上の時間外勤務の割合は…
R5年度 44.4% **R6年度 42.8%**

石川県HP 石川県勤務時間調査
教職員の時間外勤務時間の状況について(令和6年度上半期(4月～9月))より



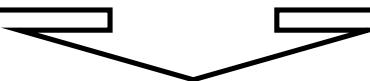
金沢市「休日の中学校部活動の地域移行に関する調査結果」 R5.7月実施 より

顧問教諭の負担感とは… 「子どものため」と取り組んできたが…

献身的な教師像…

多様化する中学生年代のスポーツ・文化芸術活動

もともと、生徒の主体的な活動(同じ趣向の生徒が相互理解の中で活動)



生徒、保護者の要望

- 専門性の高い指導・勝てるチーム・高校進学に有利 など
- 気楽に取り組みたい・厳しいトレーニングは嫌・レク感覚
- 顧問への要求大(安全確保・いじめなどの防止…)

休日活動
(大会・遠征含む)
子育て・介護との両立

未経験の競技
指導へのプレッシャー
審判業務・大会運営

報酬
3時間以上実施しても
一律3,000円程度

2. 部活動の「地域移行(展開)」とは ～現行の部活動は、どうなるのか？～

国としての
「理念」「基本的考え方」
「今後の方向性」が明記

「地域スポーツ・文化芸術創造と
部活動改革に関する実行会議」 最終とりまとめ
～子供たちの心豊かで幅広いスポーツ・文化芸術活動の保障にむけて～

地域スポーツ・文化芸術活動と部活動改革に関する実行会議より
令和7年5月

(1) 改革の理念

- 急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するのが改革の主目的。
※改革を実現するための手法を考える際には、学校における働き方改革の推進を図ることや良質な指導等を実現することについても考慮。
- 学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障。
- スポーツ基本法、文化芸術基本法で、地方公共団体による「地方スポーツ推進計画」、「地方文化芸術推進基本計画」の策定が努力義務とされていることも踏まえ、各地域においてスポーツ・文化芸術施策を総合的に推進する中で、部活動改革も計画的に進められることを期待。

今後の改革の方向性

- 地方公共団体が幅広い関係者の理解と協力の下、平日・休日を通した活動を包括的に企画・調整し、地域の実情等にあった方針を決定。

改革の進め方	<ul style="list-style-type: none">・<u>休日</u>については、<u>次期改革期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。</u> (中山間地域や離島など特殊な事情により地域展開が困難な場合等には、当面、部活動指導員の配置等を適切に実施)・<u>平日</u>については、各種課題を解決しつつ<u>更なる改革を推進</u>。まずは、<u>国において地方公共団体が実現可能な活動の在り方等を検証</u>、<u>地方公共団体においては、平日・休日を通した活動を包括的に企画・調整しつつ、地域の実情等に応じた取組を実施</u>。
次期改革期間	<p>「改革実行期間」(前期：令和8～10年度 ⇒ 中間評価 ⇒ 後期：令和11～13年度)</p> <p>※現時点で着手していない地方公共団体においても、<u>前期の間に休日の地域展開等に着手</u>。</p>
費用負担の在り方等	<ul style="list-style-type: none">・<u>地方公共団体において、地域の実情等に応じて安定的・継続的に取組が進められるよう、受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方等を検討する必要</u> (公的負担については<u>国・都道府県・市区町村で支え合うことが重要</u>)。 ※<u>受益者負担の水準</u>について、<u>国において金額の目安等を示すことを検討する必要</u>。・<u>家庭の経済格差が生徒の体験格差につながることのないよう、経済的に困窮する世帯の生徒への支援については確実に措置</u>を行う必要。・<u>部活動指導員の配置</u>について、<u>次期改革期間においても一定の範囲で支援</u>を行っていく必要。

継承・発展すべき教育的意義とは…

- ・心身の成長 ・温かい人間関係 ・充実した学校生活
- ・自己肯定感(自己効力感)の高まり ・個性・能力の伸長
- ・専門的な知識・技能 ・平等な体験機会
- ・所属感・帰属意識 ・生涯学習の基礎 ・思いやり・感謝
- ・体力向上・健康維持 ・自主性・社会性 ・地域との交流

(2) 地域クラブ活動の在り方

- 地域クラブ活動においては、**学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出**することが重要。

＜新たな価値の例＞

生徒のニーズに応じた多種多様な体験（1つの競技種目等に専念しないマルチスポーツや、スポーツと文化芸術の融合、レクリエーション的な活動等を含む）、生徒の個性・得意分野等の尊重、学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出、地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流、適切な指導者による良質な指導、学校段階にとらわれない継続的な活動（引退のない継続的な活動）及び地域クラブの指導者による一貫的な指導

- 地域クラブ活動の具体的な実施形態や活動内容等は多様な形があり得る。地域の実情等にあった望ましい在り方を見出していくことが重要。
- 民間のクラブチーム等との区別や質の担保等の観点から、**国として、地域クラブ活動の定義・要件や認定方法等を示した上で、地方公共団体において認定を行う仕組みを構築していく必要。**

スポーツ庁HP「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ 令和7年5月 より

「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」

将来にわたる生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会の確保・充実を図るため、「改革実行期間」における部活動改革及び地域クラブ活動の推進に関して、国としての基本的な考え方や具体的な取組方針等を示すもの

令和7年冬頃に公表予定

今後の地域への展開イメージとは？

～社会全体が、子どものスポーツ・文化芸術活動を支える構図～

〈学校部活動〉

教員が担当

- ・平日の指導
- ・休日の指導
- ・金銭面の対応
- ・各種連絡
- ・大会手続き
- ・大会引率
- ・その他

少子化

負担軽減

〈休日の地域展開後の地域クラブ活動〉

社会(地域)全体(学校も含む)で担当

- ・休日の指導
- ・金銭面の対応
- ・各種連絡・管理
- ・活動機会の拡大
- ・地域での諸活動

有償とすることで
持続可能な
活動をめざす
新しい社会構造
の構築

※保護者の皆さんには…

「受益者負担」への理解と協力 等

3. 金沢市の進捗状況

1. 『部活動地域移行検討協議会』の開催

今年度で2年目となります。 年2回開催

協議会資料などは、金沢市のHPから見ることができます。

2. 部活動地域移行担当の配置

文化政策課、スポーツ振興課、学校指導課、生涯学習課に「部活動地域移行担当」を配置し協議を行っています。各関係者の立場から連携を密にした適切な推進に役立っています。

3. 部活動地域移行コーディネーターの設置

令和7年度から、運動部活動地域移行コーディネーターを配置(スポーツ振興課)

4. 地域移行モデル事業の実施

運動部活動 3競技を6中学にて実施中(柔道・ハンドボール・バレーボール)

文化部活動 2部活を2中学にて実施中(吹奏楽・合唱)

4. コーディネーターとして 大切にしたいこと

めざしている「スポーツ・文化芸術環境」とは

「少子化」「教員の働き方」…と不安材料が先行しますが…

今より良い環境となることをめざして…

未来の「スポーツ・文化芸術」環境を **新しい価値観で創造**する！

持続可能性

未来社会を創造し、持続可能な環境

多様な選択肢

子ども・地域が求めるものが得られる環境

地域活動という視点

「地域社会全体が」という当事者意識
地域の子どものあり方

モデル事業の中で感じていること

○子どもが求めるもの

- ・豊富な選択肢
- ・人間(仲間)関係

できるようになりたい
できるともっと楽しくなる…

○競技団体の思い

- ・競技への熱い思い
- ・魅力を伝えるチャンスと捉える前向きな姿勢

競技人口の維持など活性化を…

○教員という職業

- ・持続可能な学校教育
- ・教育者としてのやりがい

～献身的教師像という教職観の見直し～
～子どもと活動し成長する喜び～

社会の認識を変える

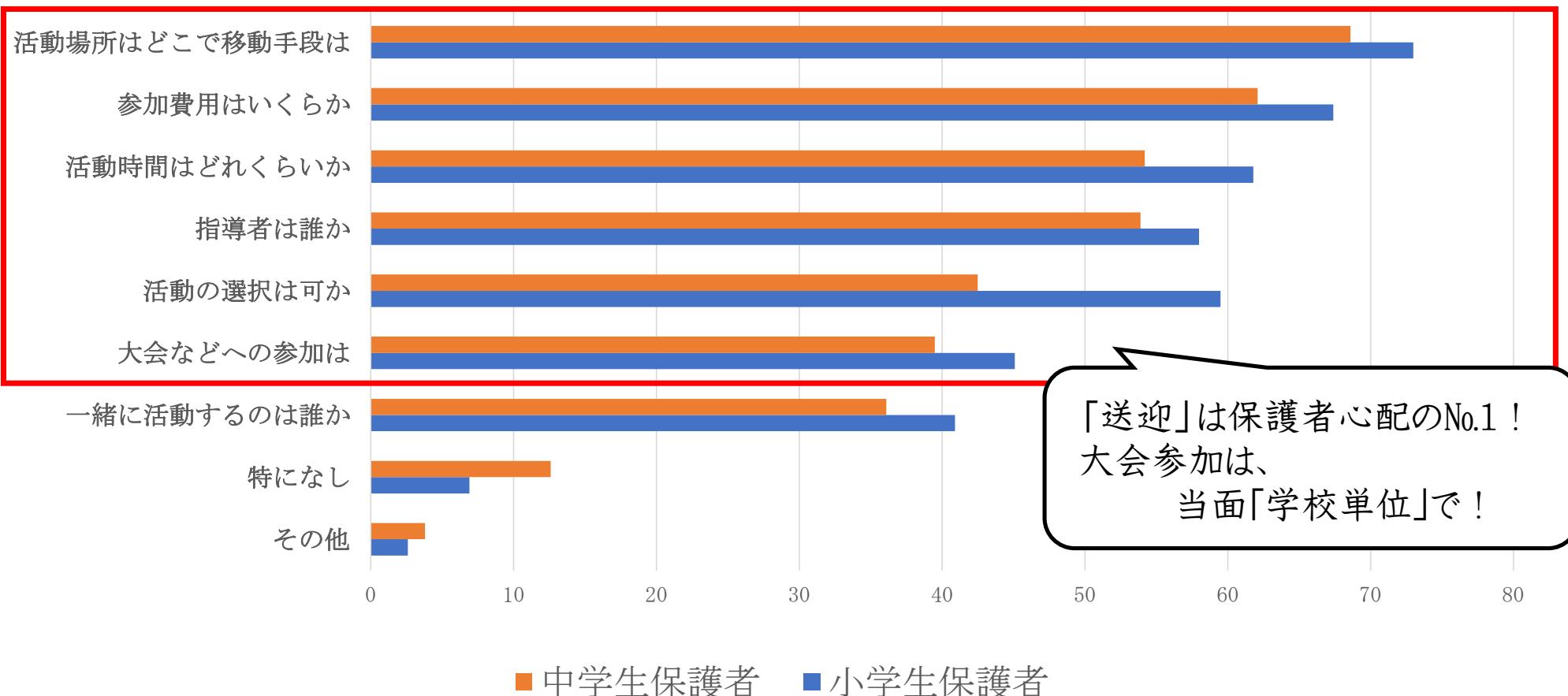
○保護者の求めるもの

- ・子どもが求めるもの
- ・安心・安全な環境

体験格差のない環境

- ・保護者の負担

地域クラブで気になること R5 保護者アンケート



金沢市「休日の中学校部活動の地域移行に関する調査結果」 R5.7月実施

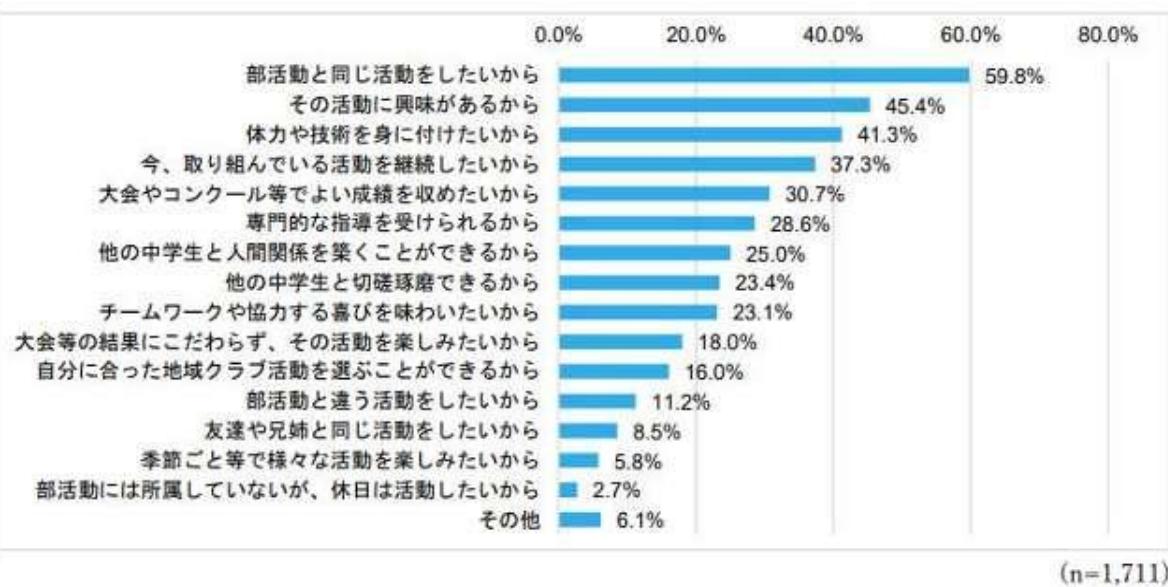
中学生の 考えていくこと

- 「地域クラブ」と「部活動」の関連とは…：
- スポーツ・文化芸術活動に
- 子どもたちの求めているもの
- 「休日地域クラブ」の気になることとは…：
- 子どもたちが主体的に参加・活動することができるか…が課題

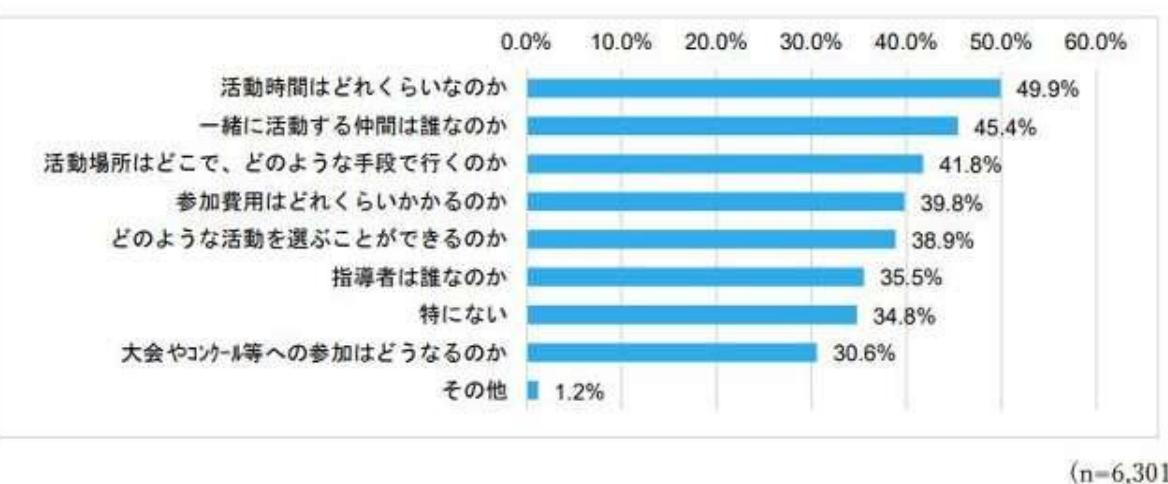
令和5年度の市調査より

(n=1,711)

問11 地域クラブを選んだ理由



問14 休日クラブ活動について、気になること



金沢市「休日の中学校部活動の地域移行に関する調査結果」
R5.7月実施

最後に…

「地域移行(展開)」を未来の金沢市にとってのチャンスへ！

1 子どもが安心(家族も安心)して活動できる機会の創出

- ・全ての子どもたちへの活動機会の保障（体験格差をなくす）
- ・現行部活動の「教育的意義」の継承

2 地域と学校が連携し、子どもを支え、育む場となるように…

- ・地域での自己有用感の育成(地域コミュニティの更なる醸成など)
- ・未来の地域を支える力の育成(未来を支え、創造する人間を育む)

3 金沢市全体への展開 ～社会全体が当事者として考えてほしい～

- ・教員の業務負担軽減（学校とは独立した場であり、つながる場へ）
- ・「今」できることでなく、今から創り上げ、育てていく社会